

## 令和2年度富山県スポーツ推進委員研修会 報告書

- 1 期 日 令和2年12月6日(日)
- 2 会 場 舟橋会館・舟橋小学校・舟橋中学校
- 3 開会式 (1) 開会  
(2) あいさつ 富山県スポーツ推進委員協議会 会長 廣瀬 孝作  
(3) 歓迎の言葉 舟橋村教育委員会 教育長 早川 誠一
- 4 参加者 176名(県内スポーツ推進委員・市町村生涯スポーツ担当者)
- 5 表彰式 (1) 文部科学大臣表彰  
角崎由紀子(富山) 池原 純一(入善)  
(2) 全国スポーツ推進委員連合表彰  
①スポーツ推進委員功労者  
武部真由美(富山) 宮本 相生(射水) 宮口 隆志(魚津)  
石田 智久(砺波)  
②30年勤続スポーツ推進委員  
山岡 敏光(富山) 川口 義一(富山) 佐藤 幹司(富山)  
渡辺 幸浩(富山) 稲村 浩子(富山) 村井 直人(立山)  
③スポーツ推進委員優良団体  
小矢部市スポーツ推進委員協議会  
④賛助会感謝状  
若島 正敬(魚津) 山本 正明(黒部)  
(3) 中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会表彰  
林 真寿美(富山) 桶川 慶子(高岡) 小曲 郁子(氷見)  
浜屋 政幸(黒部) 水戸 明美(南砺) 藤田 英子(朝日)  
(4) 北陸地区スポーツ推進委員協議会表彰  
秋濃 作二(富山) 高森 志郎(高岡) 棚元久美子(射水)  
米田 吉博(魚津) 十丸 陽好(氷見) 浦田 孝志(滑川)  
中谷 京子(黒部) 上田 敏康(砺波) 砂田 泰男(南砺)  
松井紀代美(上市) 白川由香里(立山) 松岡 信久(入善)  
(5) 富山県スポーツ推進委員功労者表彰  
南部千香子(富山) 西本定代史(高岡) 社内 博之(高岡)  
藤井 博美(朝日)

## 6 講演

演 題 「With コロナ時代におけるスポーツ推進委員と地域スポーツ貢献」  
講 師 高見 彰 氏(大阪国際大学人間科学部スポーツ行動学科 教授)

新型コロナウイルス感染症拡大下であっても、安易にスポーツ活動を止めるのではなく、現在できることを確実に進めていくことの重要性及びその取り組みの手がかりについてご講演いただいた。※以下要旨

コロナ禍の日本においては、多くの人が運動時間の減少を感じている。With コロナ、After コロナ時代においては、「健康」がキーワードとしてあげられ、健康に対する意識や健康を求める行動の高まりが、今後一層求められるだろう。インターネット・SNS の活用、少人数による出前形式の運動教室、近所の公園等のできるプログラム開発など、スポーツへの取り組み方が大きく転換していくことが予想され、スポーツ推進委員の活躍が期待される。

現在、スポーツ推進委員を取り巻く課題として、「持続可能な組織をどのように作っていくか」といったことや「地域住民からの認知度をどのように高めていくか」といったことがあげられている。地域住民を積極的に活動に巻き込む工夫と推進委員自身が、スポーツ活動を楽しむことが重要である。

## 7 実技研修

実技 A 「チームビルディングのためのアクティビティ」

講師 高見 彰 氏

本研修では、参加者同士をダイナミックに交流させたり、集団としての一体感を醸成したりするための手法として、複数のレクリエーションゲームを組み合わせたアイスブレイクを紹介していただいた。

実際の活動では、参加者の緊張感を取り除くもの、コミュニケーションを活発にするもの、グループの対抗戦を通して個々を更に活性化させるものなど様々な機能を持つゲームが取り入れられ、参加者が夢中になって取り組む様子が見られた。

アイスブレイクによって参加者同士の凝集性が高まっていく過程を実際に体験し、その効果を実感することができた。



実技 B 「卓球バレー」

講師 富山県卓球バレー協会

卓球バレーは、昭和 49 年頃、筋ジストロフィー症児のために、近畿地方の養護学校（現支援学校）で始まった競技で、障害の有無に関らず一緒に楽しく体を動かせるようにと考えられたものである。

ルールは平易でシンプルなゲーム性であるが、チーム内での連携・戦略が必要な要素もあり、各テーブルでは白熱した試合が見られた。

この競技は、誰にとっても取り組みやすいようにルールが工夫されている。障がい者スポーツと限定することなく、各市町村で子供から高齢者まで幅広い世代にも楽しんでいただけるとよい。



## 8 閉会式

(1) 開会

(2) あいさつ 富山県スポーツ推進委員協議会 副会長 青木 敏光  
副会長 中山 賢一

(3) 閉会